



ぞう組だより No.1

令和2年7月2日

ぞう組担任 大川 綾子

幼稚園が再開され、新しい保育室や環境に緊張している表情が見られましたが、少しずつ園生活の流れを思い出し、友達と関わることや「何して遊ぼうかな」と楽しみに登園してくる姿が多くなってきました。乗り物を作りたい、ハンバーガー屋さんになりたい、ロボットをたくさん作って飾りたいなど思い思いに遊ぶ中で、友達とイメージが共通になって一緒に遊びを進めようとするこも増えてきました。遊びの中でプラネタリウムを作ったり、段ボールやガムテープを用いて街作りを楽しんだりしています。「ドレミのまほう」という歌を歌ったり、絵本を見たりして学級のみんなで過ごすことも楽しんでいきます。

目打ちの使い方が分かり、小さい穴、大きい穴をあけることを楽しみました。



チーズバーガーをひとつください。



天井や外に向かって透かしてみると光が差し込み、カラーセロファンを貼るとさらに色が変わっておもしろかったです。

チーズバーガーですね。今作りますので、待っていてください。

染め紙

ダイロンという発色のきれいな染め粉を使って染め紙を作りました。障子紙を4回折って、青・黄・赤・紫の色水に浸すと、グングン色がにじんでいきました。何度もやってみると染め方や模様が違って、なぜだろうと考えたり、他の色にするにはどうしたらいいのかなど色のつけ方を工夫したりして色々な模様染まることを楽しんでいました。



何色にしようかな。



どうやって折ろうかな。



七夕飾り

染め紙を使って、天の川とくす玉を作りました。

天の川は、交互に切り込みを入れること、少し余白を残して切ることを意識しながら慎重に切っていました。分かっているもついつい最後まで切ってしまうたり、少しずつ切りたいのに同じところにはさみの刃が進んで行ってしまったりと思うようにならない難しさを感じている様子も見られました。切り終わって広げてみると、きれいな天の川になって喜んでいました。さらに天の川のようにするために、と星型のホイル紙を飾ることにしました。

「織り姫と彦星が座る場所にしようかな」「会えることを楽しみにしているのかな」と七夕飾りを作り始める前に学級でみた「七夕」についての由来や意味を考えながら製作を楽しんでいました。

くす玉は、

1. きらきらのミラーテープを切って、こよりにホチキスでとめる。
2. 染め紙を4分割に切る。
3. (フラネタリウム作りで使った) 目打ちで穴を開ける。
4. 切り込みをいれすぎないように気をつけながら穴に向かって切る。
4. 糊で形を作る。
5. こよりに通す

という工程があり、様々な用具を用いて組み合わせるため、すぐにはできあがらないものではありましたが、自分なりに作ったり、教師や友達に聞きながら作り進めたりしていました。できあがると、とても喜んでいました。



真ん中に穴を開けよう。

ミラーテープがつるつるして切りにくいと、友達と一緒に切ることを思いついて手伝い合っている姿も見られました。また、難しいな、困ったなと言っている子に「教えてあげようか?」と声を掛ける子もいました。